

# 専徳寺報

第479号

令和6年3月1日発行

浄土真宗本願寺派  
専徳寺

〒740-0044 岩国市通津2764  
☎0827-38-1124 FAX38-1000

<http://sentokuji-iwakuni.net/>

岩国 専徳寺

検索

ついでに礼拝（月初めはお寺参りから）

— 毎月一日・午前9時より45分間 —

## 春季讚仏会法要

御案内

春くれば梅にとまり鶯の  
法きけようの声をたのしむ

長かった寒い冬も終わりました。春の到来、春のお彼岸です。お聴聞にはもってこいの季節です。ご参詣お待ちしております。



### 日時

3月8日（金）

昼1時半～3時半

3月9日（土）

朝10時～12時

### ご講師

本願寺布教使

新 晃真師（下関市）

●参拝セット（念珠・聖典・式章・聴聞カード）

どうぞお持ちください。



## 寺内だより

み仏にいだかれて〔葬儀勤修〕

●ご恩を偲び〔法事勤修〕12月21日～2月16日



●ご報告いたします

御正忌報恩講 (1月24、26日)

【講師】 溪宏道師、住職、前任住職  
【お供え】 白田憲光 (みかん)

報恩講法要報告

総代 白田憲光 (釈誠諦)

親鸞聖人のご遺徳をしのぶ当山報恩講が、ご講師に徳山から溪宏道師をお迎えし開催された。本年は浄土真宗立教開宗800年に当たり、800年変わる事なく伝わってきたお念仏のお働きについてご教示頂いた。阿弥陀仏のお働きを法然上人から受け継がれ、今まで脈々と伝わり続けている阿弥陀仏のお働きをわかりやすく解説頂いた。

何かを期待して唱える念仏と違い、聖人の明らかになされたお働きを喜ぶ念仏は、称名念仏だから今でもありがたく、800年変わらないまま私たちの元に伝わって来ている。

四年ぶりに再開されたお齋も今回は趣向を変え、お齋料をいただくかず、どなたでもお齋につく事が出来るようになり、またメニューもおしゃれで見た目もきれい。この新しいスタイルでのお齋を考え、私たちに届けて頂いたお齋衆の皆様ありがとうございました、おいしくいただきました。

二日目の夜席の万灯会、今年は蠟燭の明かりだけでなく、小さなLEDランプが会場に並べられ幻想的な雰囲気になまれ、厳肅な速夜を醸し出してくれた。

専徳寺納骨堂受付中



お餅つきも再開しました。

おしずく二種  
聖人好み蓮色飯  
菩提尼様好みみかん飯  
高野豆腐の唐揚げ  
三河白蓮汁  
肥後豆腐の味噌汁  
生麩の白味噌汁  
香の物  
水菓子(福白物)

ご満座の三日目は前任職より領解文の解釈と意味について解説して頂いた、現代人の言葉では聴き方によれば全く逆の意味にとらえる事になる言葉もわかりやすく説明頂きました。寒さも厳しい中多くのお参りと、新しい工夫もあり改めて親鸞聖人のご遺徳に思いをはせる事の出来た報恩講でした

南無阿弥陀仏



夜席の万灯会

前進座「花ごぶし」公演 (2月14日)

恵信尼様を中心にした親鸞聖人のご生涯のお芝居でした。歴史上、公に僧侶で妻帯した親鸞聖人と、初めて僧侶の妻を名乗った恵信尼様。災害や罪業に苦しむ激動の時代を、お念仏のみ教えを支えに共に歩まれるご夫婦の姿を熱演くださいました。

夢告で相手を特別な存在と知らされ、お互いを敬慕しあった恵信尼様と親鸞聖人です。お念仏こぼれる家庭は、単なる夫婦や家族関係で終わらない事を教えられます。



専徳寺から27名の参加でした。

(メモ)

「ごぶしの花」について…恵信尼様のお墓のかたわらに樹齢600年をこえるごぶしの古株がありました。そこから現在、「ごぶしの花」は恵信尼様を慕う浄土真宗仏教婦人会のシンボルとなっています。

